

学部の実態に応じた特色のある交流及び共同学習 ～学校間交流や地域との交流の実践～

熊本県立熊本支援学校

熊本支援学校には、小学部、中学部、高等部、高等部東町分教室と4つの学部・分教室があります。それぞれの学部で児童生徒の実態や地域に応じて、工夫をしながら交流及び共同学習を実施しています。本記事では、本年度の各学部の特色のある取組の一部を紹介したいと思います。

【小学部】出水南小学校との学校間交流

小学部では、毎週火曜日の午後の時間に、出水南小学校の4年生と交流を行っています。この交流は、今年で38年目を迎え、1000回を超える伝統があります。両校で「共に学び合う」ことを大切にし、ゲームや遊び、制作などの活動をとおして交流パートナーと1年間じっくり関わっています。



秋の交流集会

1学期の交流集会では、緊張している様子が見られましたが、交流の回数を重ねるうちに少しずつ互いの距離も縮まってきています。出水南小学校の5・6年生が出店した魚釣りやモグウたたき、お笑い芸など、オリジナルのショップをパートナーと周りました。どのショップも魅力的で、子ども達は笑顔が絶えず、「あっちのショップも行きたい!」「もう一回したい」という声がたくさん聞こえてきました。更にパートナーとの距離が縮まり、楽しい1日を過ごすことができました。



【中学部】出水南校区8町内「亀継公園・地域交流清掃活動」地域の方々と共に

6月13日(水)に中学部3年生は、出水南校区8町内にある「亀継公園」へ清掃活動に行きました。梅雨の晴れ間の暑い一日でしたが、片道30分歩いて移動しました。公園では、地域の方々と一緒に汗を流し協力しながら、清掃活動を行うことができました。地域の方々からは、生徒たちのがんばる姿に対してたくさんの感謝の言葉をいただきました。また、8月に「亀継公園」で実施された8町内夏祭りでは、本校の作業製品の販売もさせていただきました。地域を身近に感じ、地域との繋がりがりや大切さ、地域の方々から見守られていることなど、改めて感じることができました。

生徒からは、地域の方々と一緒に公園の清掃活動をして、「公園がきれいになり気持ちよかった。また、一緒に清掃活動をしたい」などの感想がありました。今後も地域の方たちとの交流活動を継続していきたいと思ひます。



地域の方のお話



地域の方と共に



協力して



地域の方と笑顔でお別れ

【高等部】熊本地震を機にした神戸市立青陽須磨支援学校との学校間交流

平成28年熊本大地震では、全国の様々な支援学校から励ましの手紙や寄せ書きを頂きました。神戸市立青葉須磨支援学校もその中の一校でしたが、これまでの3年間、様々なやりとりを続けてきました。平成28年度には、合唱曲「スマイル」をお互いにVTRにして送ったり、それぞれの文化祭等で披露したりしました。平成29年度には、青陽須磨支援学校で収穫された「神戸復興のシンボル：ひまわりの種」が送られ、本校の花壇に植えて学校中がたくさんのひまわりに囲まれました。

そして今年度は、2年生が修学旅行で、青陽須磨支援学校を訪問しました。待機室のメッセージ付き折り紙、壁一面のひまわりの装飾、盛大な拍手での温かな出迎えに、胸が一杯になりました。お互いに、照れながらも握手や自己紹介をするうちに、少しずつ緊張がほぐれました。本校企画の「熊本弁クイズ」では、積極的に手が上がり、大盛り上がりでした。サプライズでくまモンも登場し、「くまモン体操」や「切手のない贈り物」を全員で踊ったり歌ったりして楽しい時間を過ごしました。最後に両校で協力し、願い事を書いた画用紙を「希望の樹」に吊るしました。短い時間ではありましたが、人と人とがつながることの素晴らしさを感じることができた交流会となりました。



「希望の樹」

【高等部東町分教室】隣接する熊本聾学校との学校間交流

合同美化作業・避難訓練

年間を通して美化作業を合同で行っています。10月に行われた美化作業では、熊本聾学校の生徒が手話を交えてスケジュールや注意事項の説明を行い、本校の生徒も熱心に聞いている姿が見られました。両校の生徒が協力して、ともに使用している敷地内をきれいにすることができました。



作業体験学習



熊本聾学校中学部の生徒の作業体験を行いました。本校の生徒たちは緊張しつつも、筆談や事前に学習した手話を交えながら丁寧に作業について教えることができました。作業の休憩時間には、熊本聾学校の生徒から手話や指文字を教えてもらいながら談笑する等、交流が深まっている様子が見られました。

バドミントン合同練習

本校のバドミントン同好会の生徒と熊本聾学校バドミントン部の生徒で、年間を通して合同練習を計画して実施しています。生徒同士顔見知りになり、休憩時にはお互いにコミュニケーションをとる場面もありますが、いざ、勝負となると白熱した試合が行われています。熊本聾学校の生徒に勝てるよう、日々の練習における意欲にもつながっています。